

Future

プロジェクト ~蛇ヶ洞浄水場見学~

5/23（月）にプロジェクトの校外学習として、瀬戸市内の蛇ヶ洞浄水場に行きました。事前学習として、水道水がどのように手元まで届いているか、また浄水場では沈殿・濾過・消毒の作業がされていることを学習してきました。ただ、実際に浄水場に行ってみると、いくつもの水槽を使って、薬品で消毒したり汚れを固めたり、石や砂を使って濾過したり、またその水槽は2/3日に1回順番に砂を入れ替えて掃除しているという大変な作業で浄水場が成り立っていることがわかりました。また蛇ヶ洞浄水場では、この大変な作業を合計16人の職員さんが、交代しながら24時間体制で水道の水を作っていることにも、子どもたちは大変驚いていました。普段当たり前のように使っている水道水を作るのに様々な工程があることを知り、当たり前ではないことが分かったと思います。

ふりかえりの一部抜粋

- ・地球の水の98%が海水で2%が今私たちが飲める水に改良できる水。だから飲める水には限りがあって、全家庭がたくさん使うとすぐになくなってしまふから、水は大切にしなければならない。
- ・いつも、当たり前のように使っている水が、誰かが手を加えてるから飲めると知り、これからは大切にしていきたいです。

また今回の校外学習の前後には、情報の授業を中心に「話を聞いてメモを取る」授業を行ってきました。メモを取る意識や、気になることを質問して聞く意識は元々高かったのですが、どうしても文章でメモをしたり聞いたもの全てを書く傾向があったため、箇条書きや要点だけを書くこと、また後から付け足したり整理をしたりと、工夫できる様々なスキルを身につけるために取り組んできました。校外学習ではその成果が垣間見え、紹介ビデオを見たり職員さんの話を聞いたりしながらたくさんメモをし、中にはメモ用紙を線で区切ったり場所を変えたりしながら後から見やすくなるように工夫している子もいました。まだまだ苦手な子もいますが、今後も校外学習に出かけたり専門家の方からお話を伺ったりする活動もあるため、何度も繰り返しながら身につけていきたいと思っています。

内科検診 ~エピソードに対する児童の反応~

先日26日（木）に内科検診を行いました。検診自体に特別なことはないのですが、その説明をした際の子どもたちの様子を紹介いたします。

子どもたちには検診前に「胸の音を聞いて体調をしてもらうんだよ」と話をしました。ただその時の反応があまり良くなかったので、「昔話した、先生が手術した心臓（*下記説明）について、悪いと分かったのは胸の音を聞いてもらったからなんだよ」と言った途端、子どもたちの反応は一変しました。「なんで胸の音を聞いただけで心臓が悪いと分かったの？」と質問してくる子や、そもそも最近編入してきた子は私が心臓の手術をしたことは言っていなかったため、大変驚いていました。その話を聞いたからかは定かではありませんが、内科検診中の子どもたちの態度はさすが最高学年と言えるもので、24名の検診があつという間に終わりました。

4年生の子どもたちは、こういった物事に対してエピソードを紹介すると、すぐに反応を見せてくれるのが素晴らしいです。今後も彼らの成長につながる話をしていきたいと思っています。

(*心臓の手術は2020年5月に、5年ほど前に発覚した心臓弁膜症の手術を行い、現在は完治して毎年の定期検診のみになります。私にとっては健康と人間の体の凄さを身をもって体感できた経験で、事あるごとに子どもたちに紹介しています。